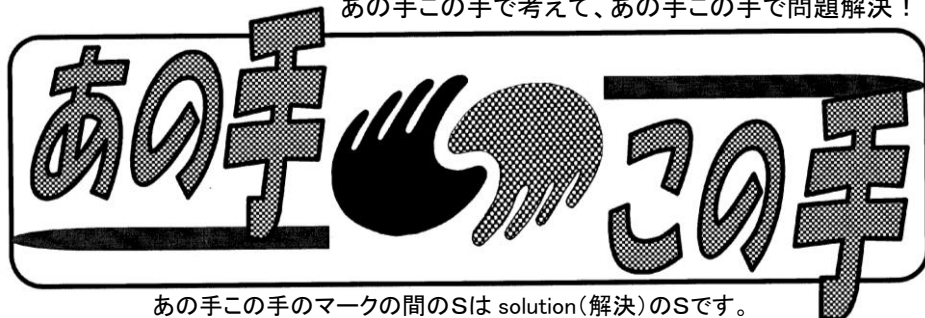


あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



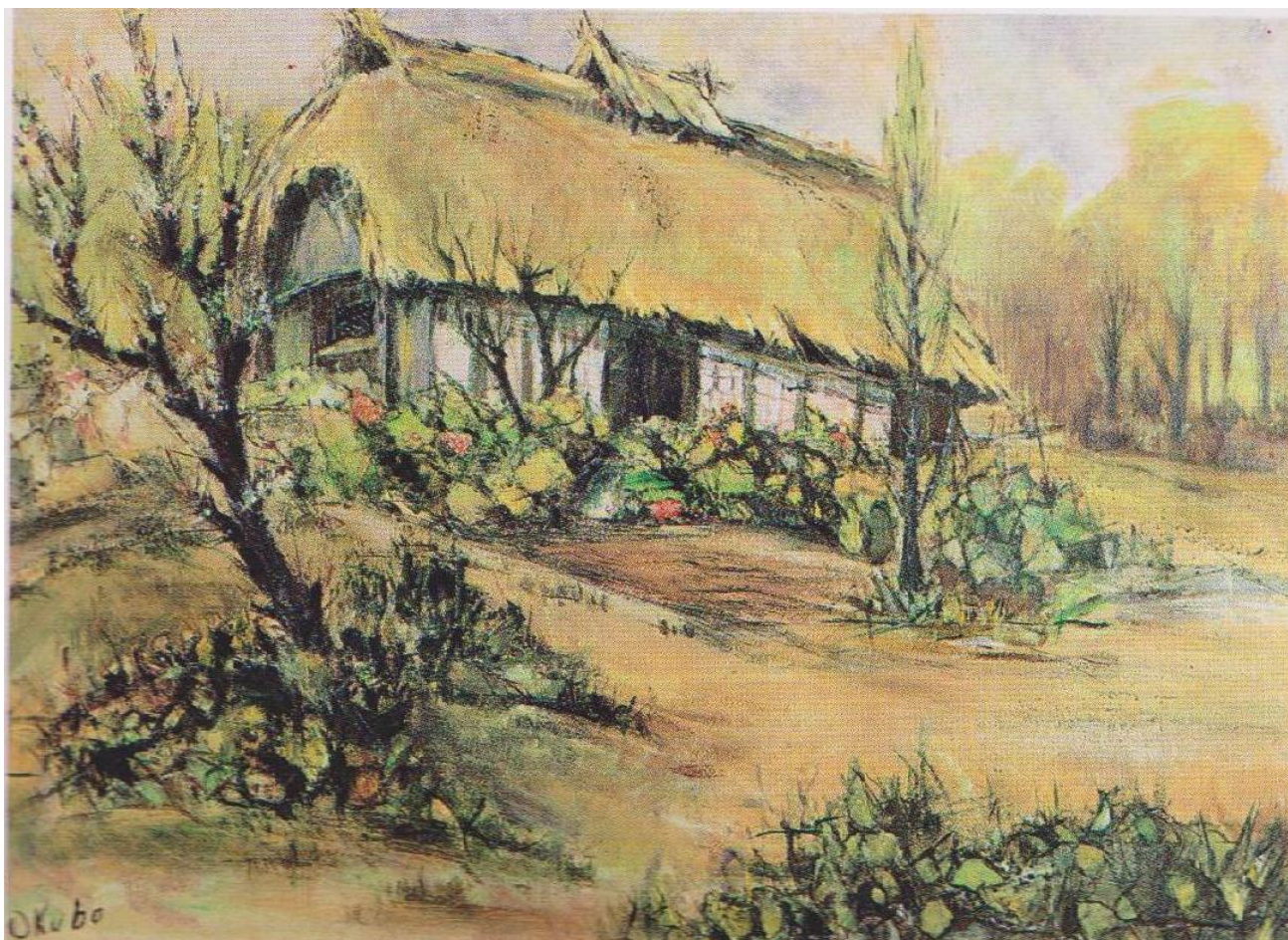
あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第61号 2012年8月1日発行

2012
8
月号



つきみ野駅・南林間駅から徒歩約10分の歩行者専用道や住宅街でサルスベリが見ごろになっています。



●衰われた風景 大和の古民家シリーズ第2回 わら屋根の家(上和田) 絵・大久保信昭

元気で行動力のある先生でした 笹倉鉄平版画ミュージアム館長 小川政男

大久保先生には「やまと子ども絵画大賞」の立ちあげ時からアドバイスをいただき、審査員をお願いしてきました。長年の学校教育の現場経験から、「子ども達の絵画からまちづくりのきっかけを。大和市を文化の薫る街にしたい」と、いつも熱っぽく語っておられました。新橋通商店会で大和美術協会会員の作品展、深見小学校へのお出前授業

等々、とにかく元気で行動力のある先生でした。大久保先生の思いをしっかりと胸に、絵画コンクールを今後も続けて行きたいと思います。ご冥福をお祈りいたします。合掌

大久保信昭さん(1930年生まれ～本年2012年死去)
画家。元大和美術協会会長。大和市深見台に長く在住。



『情報交差点』をご利用ください～イベントのお知らせやお仲間集めなどに便利～

- ・A4サイズのチラシを200枚、ご準備ください。
- ・1点1,000円で「本紙」に同封し、登録団体等に送ることができます
- ・発行日前日に予定する封入作業に加わっていただきます。

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

このゆびとまれっ！

ただ今進行中
(報告と予定)



2012年 夏休みボランティア体験に集まっています
中・高生

7/21(土)オリエンテーションを行いました
会場は中・高生でいっぱい。視覚障害者の案内には特に熱心に聞いていました

子どもたちと仲良く遊べて良かった。元気をもらい暑さも忘れられた

ケガをさせては大変！公園との往復、交通ルールを守って真剣にリードした

子どもと遊ぶ

7/26(木) しんちゃんハウスの子どもたちと遊びました。
次は、8月2日(木)、23日(木)15:30~17:30です。

ホールも暑い。ゲームも熱い。球拾いに応援にと汗だく。「アイマスク」を付けずに相手をしたが負けた。瞬時の判断はスゴイ！

引地川の掃除をする (これは7月で終了です)

7/28(土)「引地川水とみどりの会」のみなさんと
いっしょにゴミ拾いをしました。

二人で組んでゴミ拾いました。ケガしないように息を合わせてサ

暑い日だったが川の中は涼しかった。運動靴をはいて水の中を歩くのは初めて



視覚障害者と卓球をする

視覚障害者の卓球=サウンドテーブルテニス
黄色い球の中に小さい鈴が4個入っていて、卓球台で球を交互に転がして行います。

7/30(月)保健福祉センターで行いました。
次は、8月6日(月)、20日(月)です。

視覚障害者とコンサート観賞

8月6日(月)9:30から誘導体験学習を大和市民活動センターで行い、次いで、13:00からコンサート観賞をウィーンホールに移動して行います。

平成24年度協働事業等提案 意見交換会 を7/8(日)開催しました

提案は14事業=本紙前号に紹介しています

<意見交換会の内容>

- ・提案者と市担当課が提案内容の調整結果を発表
- ・協働推進会議委員が質疑応答
- ・会場の意見を紹介

協働推進会議に意見交換会のまとめを委ねる

<今後の流れ>

推進会議から市長へ答申(8/2 予定)

協働事業の決定(8/31 予定)

市議会が予算案を議決

新年度より事業実施
(平成25、26、27年度の3年間)

協働推進会議委員のコメント
市民と市が1+1が2、1+1が4になるような「協働」から新しい価値が生まれてほしい



大和市民活動センターは市との協働事業で管理運営されています

持続可能な「センター」を運営していくために

今年度は他市「センター」を見学し情報収集を行います(その1)

次年度は学んだことを、今後の「センター」運営に活かしてまいります。

これから数ヶ月、「あの手この手」で他市「センター」見学記をレポートします。

おだわら市民活動サポートセンター
小田原市民会館 4階にありました

人と人、活動と活動のつながりが基本

7月9日(月)に「鎌倉市市民活動センター」

7月13日(金)に「おだわら市民活動サポートセンター」を訪問。

それぞれの理事長にお会いして、お話を伺った。

センターの運営は、どちらも「基本は人」と、はっきり言われ、スタッフの熱い思いが、人と人、活動と活動をつなげていると実感。以下は参考となる事項です。(拠点やまと/石川美恵子)

【鎌倉】

- ・月1回のスタッフ会議の15分間は研修に充てている。
- ・教員のインターンシップを引き受けている。
- ・郵便、メール便の取次事業の実施。

【おだわら】

- ・情報提供としての「イベントカレンダー」の発行。
- ・高校生が自主的にボランティアグループ「パレット」を運営。
- ・25団体が夏休みの中・高生ボランティア体験を受け入れている結果、メニューが豊富。



現在、市民活動の拠点は市町村にひとつはあります。その運営主体はさまざまですが、おだわら市民活動サポートセンターは「NPO法人」、市民が運営しています。

市民活動団体と同じ目線で人とつながりあい、人と人をつなげあうことで地域の課題を解決したいというところに重きを置いているところは、ここ大和市民活動センターと一緒に。志の同じ人たちに出会い、うれしくなりました。

(おだわら市民活動サポートセンター同行
市民活動課/村山真弓)

7/24(火)「センター」にて
第54回を開催しました

連続共育セミナー

次回は9月に開催します
(本紙9/1号でご案内します)

テーマ: とっさの判断力を磨く

～あなたならどうする? とっさの時～

進行役: 関根孝子(拠点やまと会長)が7/1(日)登録団体交流会で行った「クロスロード」技法を改めて説明しその技法を使って、参加者は5名毎グループに分かれ新たに作った「センター」版例題10問に対して体験しました。自分の意見が言え、他人の話も聞いて、さまざまな価値観を共有でき、とっさの時、大きい声の目立つ人や多数派に流されることなく、一呼吸入れて良い結論を導けそうだと意見も聞かれました。



テーマ: NPO法改正 新寄附税制 会計基準

～知っておきたいポイント～

日時、場所、講師等は確定次第ご案内します。

内容: 理事長以外の理事の代表権喪失による変更の登記はお済みですか?

2012年4月1日から改正NPO法が施行されNPO法人に関する諸制度が大きく変わりました。実務につながるポイントを学びます。

「センター」のある日ある時

7月24日(火) 晴れ

国際交流活動をしている団体「ラボ」の飯塚さんが仲間のアメリカ人(アラスカ在住、しばらく飯塚宅にホームステイ中)を連れて来館。当人が撮ったアラスカのアルバムをみせていただき、日常英語を交わしながら談笑した。住居近くまで来るヘラジカは大きいけど大人しいとのこと。



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。
2012年8月号(第61号)をお届けします。

猛暑の日々。お元気でしょうか。

こちら大和市。蝉(せみ)が一斉に3日前から鳴き出しました。「ジーン」と鳴くアブラゼミが本格的な夏の到来を告げています。

7/27(金)付け毎日新聞朝刊の1面、「サムライ先制 初戦対スペイン」という大見出しの上に先制ゴールを決めて喜ぶ男子選手3人の写真がありました。すごいね、男子サッカーチームもと思いつつ、その記事の右下にこれまた「日本女性寿命世界一譲る」(厚生労働省発表)という見出しに目が移動しました。平均寿命の上位の国・地域のベスト5位が載っている記事。

<女性>2位日本 85.90歳、<男性>8位日本 79.44歳とあり、男性も前年の4位から8位に下がった。厚労省では下がった原因は「東日本大震災が大きく影響した」と分析。そうかそういうことなんだと気持ちを納得させて、読み続けると、平均寿命が下がったもうひとつの原因の記事は以下のようにたった20字にまとめていました。

「20歳代の自殺の増加も影響しているという。」これ、ひやりとしました。ほんとかよと。

考えてみると、今、就業している若者の半数近くが非正規雇用だという。仕事がつくて、辞めたいと思っても一度職を失ったら、次がないから辞められない。ぎりぎりまで無理をする。それで、身体と精神が冒され、賃金の低い職さえ離さざるを得ないところに追い込まれてしまう。もうこれでは夢と希望が断たれてしまうのは明らかだ。「20歳代の自殺」……。

国際労働機関(ILO)総会でも今年の議題に若者の雇用問題を取り上げている。

「若者に投資を。さもなくばひとつの世代が失われる」。

働いている若者の中でも2億人以上が1日2ドルに満たない賃金を得ているといった、若者の就業を取り巻く情勢を数字で示した上で、「活発な行動を即時に取らない限り、地球社会は失われた世代という悲惨な遺産」に直面することになると警告。政府、社会的パートナーである労使、多国間システムが若者の雇用危機に取り組み、若者のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を促進する行動を支援するよう求めています。(ILO駐日事務所2012年記者発表)

若者への投資はその国の未来への投資なんだと思う。(次号に続きます)

記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2012/08/01



イラスト・望月則男